

シン学校プロジェクト 一宮市立大和南小学校基本計画概要

1. 大和南小中一貫校基本計画の策定経過／施設整備コンセプト・基本方針

(1) シン学校プロジェクトにおける大和南小学校の選定

シン学校プロジェクトとは

シン学校プロジェクトは、少子化が進み児童生徒数が減少する中で、単に古くなった校舎を順番に建て替えていくのではなく、新しい時代にふさわしい学校の在り方について、市民・地域の皆さまからご意見をいただき、一緒に考えていこうというものです。

大和南小学校の応募・選定

【大和南小学校の応募】

2024(令和6)年4月から第1期プロジェクト(前期、後期)の候補となる学校の提案を募集し、大和南小学校については、「小学校と中学校の施設一体型校舎への改築」や「教育課程特例校制度を活用し、学区外からの児童の受け入れによる学校規模の適正化」と「大和南地域の核となる学校」などの提案がなされました。

【大和南小学校の選定】

提案を受け、「市内小学校の中でも校舎の健全度が著しく低いことや、2028(令和10)年にはすべての学年が1クラスになる予測」などの理由から、2024(令和6)年7月の総合教育会議において、前期の対象校に決定しました。



西側公道から見た大和南小学校



運動場から見た校舎

(2) 施設整備のコンセプト・基本方針

小中一貫校の強みを活かした特色ある学びと地域とともに大和南の誇りを育む、選ばれる学校

- ・9年間一貫した教育の実施と現代的な教育課題を踏まえた効果的な教育の実施により学区外からも『選ばれる学校』を目指す。
- ・コミュニティの希薄化・孤立化といった課題の解決を図るため、地域のコミュニティの拠点としての機能を有し、誰もが通いたくなる、集いたくなる地域の学校を目指す。
- ・大和南小中一貫校に通うこと、集うことが良い思い出となるよう、子ども目線での施設づくりを目指す。新規居住者を呼び込むなど、未来に向けた誇れる学校・地域づくりにつながる。

《ワークショップでいただいた意見》

①魅力的な学校づくり

- ・他学区からも行きたいと思える学校
- ・地域の誇りとなる学校
- ・愛着がわく屋外空間・ひろば

②特色ある学びの空間

- ・最先端の技術を活用した先進的な学びの充実
- ・小中一貫校のメリットを生かした特色あるカリキュラム
- ・児童生徒の探求的な学び
- ・個別最適な学び、協働的な学びの場づくり
- ・充実した運動施設

③居心地がよく誰もの居場所となる快適な生活環境

- ・誰もがリラックスできる空間づくり
- ・成長(年代・体格等)に応じた生活環境
- ・自然を活かした温かみのある環境づくり
- ・快適な環境づくり(設備等)

④交流・コミュニケーション

- ・小中が一体的に活用できる空間
- ・児童生徒が集まりコミュニケーションできる場所
- ・多目的に使える空間

⑤地域交流 開かれた地域の拠点

- ・地域との関係性を活かし、見守られ、育まれる学校
- ・地域の方が利用できる場所
- ・保育園との交流

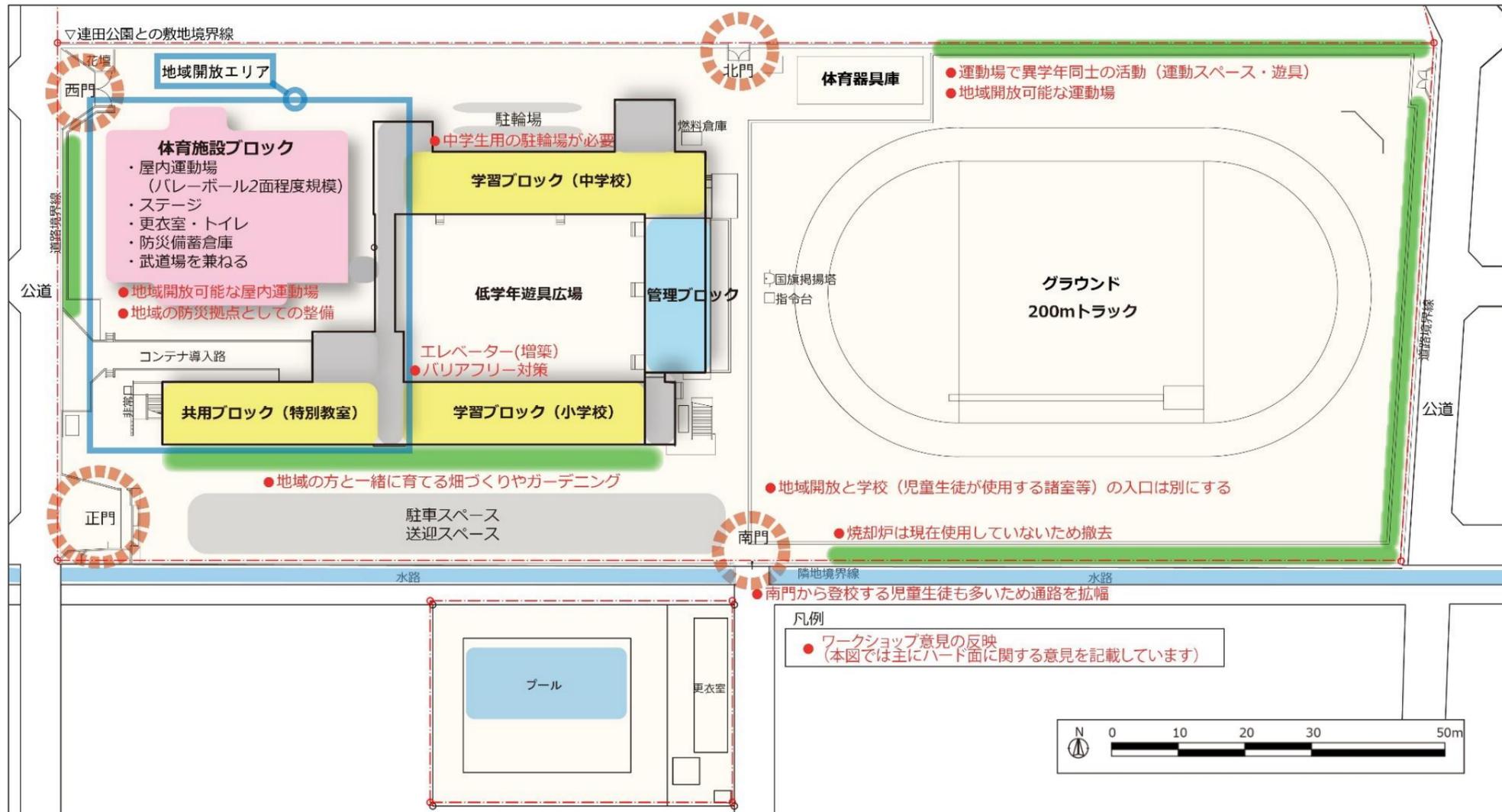
⑥安全・安心な学校

- ・安全・安心な学校施設
- ・地域の防災拠点

⑦その他の配慮事項

- ・教職員の働きやすい環境づくり
- ・放課後児童クラブの充実

2. 大和南小中一貫校基本計画(ブロックプラン/事業スケジュール/統合の方針/概算事業費)



統合の方針

施設・機能	小中一貫校への統合後の方針
大和南 児童クラブ	・小中一貫校で継続利用 ・必要な規模を確保
特別教室 (開放利用)	・小中一貫校で対応開始
屋外運動場 (開放利用、避難所)	・小中一貫校で継続利用
屋内運動場 (開放利用、避難所)	・小中一貫校で継続利用

概算事業費

施設の概算事業費として、基本計画段階では、約 25.4 億円を想定しています。内訳は、設計費等に約 1.9 億円、仮設校舎工事に約 0.7 億円、校舎改修工事に約 22.8 億円を想定しています。

事業スケジュール

2026～2027(令和 8～9)年度に基本設計・実施設計、2028～2030(令和 10～12)年度に仮設校舎工事及び既設校舎改修工事を行い、共用開始は概ね 2031(令和 13)年度を想定しています。

項目	2026(令和 8)年度	2027(令和 9)年度	2028(令和 10)年度	2029(令和 11)年度	2030(令和 12)年度	2031(令和 13)年度
事業 スケジュール	基本設計	実施設計	仮設校舎建設	長寿命化改修工事	仮設校舎解体	供用開始

